

やんばる水環境創出プロジェクト-沖縄の休日を持感する持続可能な流域マネジメント-

実施団体：一般社団法人大宜味村観光協会



地域の特徴と活動背景

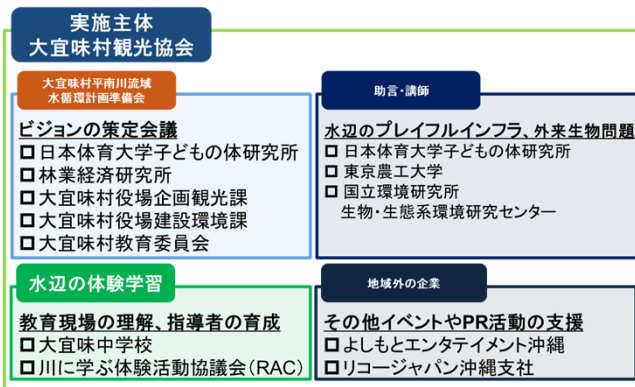
【地域の特徴】

- 平南川流域は重要な水源地であり、観光資源「ター滝」を併せ持つ、沖縄県やんばる地域の重要な資源である
- ター滝は、開発の進んだ現在の沖縄県では、残された数少ない「川遊びができる貴重な場」として認知されている

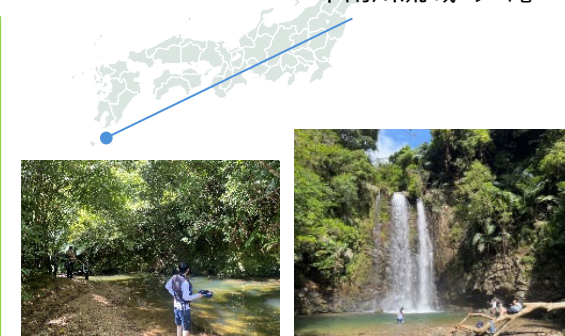
【地域課題】

- 来訪者増加に伴うゴミの放置や自然体験中の事故増加
- アメリカハグルマ等の侵略的外来植物の流入
- 村の子供たちの自然体験離れ

モデル事業の実施体制



沖縄県国頭郡大宜味村
平南川流域 ター滝



トレッキングコース

ター滝

R5年度モデル事業における取組内容および成果

現況把握・関係者調整

- 流域の現況調査、行政や専門家との合同現地踏査により、開発影響等を把握、各種団体と情報を共有
- 先進地視察により、安全管理についての知見を導入



専門家同行による
流域踏査



先進地視察
倒木への対処

専門家視察・座談会

- 座談会等により方向性を明確化
- 子どもたちの育成のための環境づくりには、縦割りであった取組を横断的に進める必要性を確認
- やんばるの生物多様性は「里山」が健全に保たれることにより守られてきたことを再認識



座談会
水辺のプレイフルインフラ・外来生物問題

普及活動

- 育成機関の指導の下、中学生を対象に水辺の体験学習を実施。プレイリーダーの育成と教育現場の理解取得
- リーフレット作成により、トレッキングコースでの安全管理、自発的なゴミ拾いの普及啓発を強化



水辺の体験学習

トレッキングコース
リーフレット

水循環計画準備会の開催

- 流域水循環計画準備会を開催
- 村の観光課や建設環境課、教育委員会と連携し、地域が一体となって取り組むための指針を確認
- 大学や学術団体も一員とし、「ビジョン」と「取り組み事項」を決定

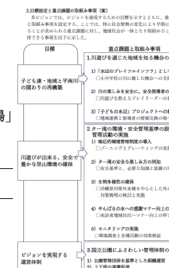
II. 将来像〜ビジョン〜と目標設定

1. 将来像〜ビジョン〜

「遊びのめがね」を育む、はじまりの場

初めてきて（ター滝に来て）感動した
（中学生1年生の声）

準備会で決定した
ビジョンと取り組み事項



今後の課題および 取組方針

- 「こどもまんなか」を基本とし、子どもたちが遊びを通じて地域の魅力を体感し、成長した際に原風景として記憶に残る体験を目指す
- 流域マネジメントに向けて、ビジョンの取りまとめ、推進体制の構築を行い、流域水循環計画の策定を目指す
- 人材育成や環境調査を継続しながら、国立公園を自然体験の場として活用することで自然環境保全と利用の両立を目指す